

酵素分解ローヤルゼリーの継続飲用で インフルエンザ感染予防にも期待

—ヒトの唾液中 IgA を増やし、免疫力を高める効果を確認—

株式会社山田養蜂場（本社：岡山県苫田郡鏡野町、代表・山田英生）は、「ローヤルゼリーを飲むと風邪をひきにくくなった」というお客様の声が多いことから、ヒトの「免疫力」に対する酵素分解ローヤルゼリーの有効性を検証するため、試験を実施しました。その結果、**酵素分解ローヤルゼリー^{*1}の継続飲用によって、ヒトの唾液中の IgA^{*2}が増加し、ウイルスなどの感染に対する抵抗性が高まる**ことを、確認しました。

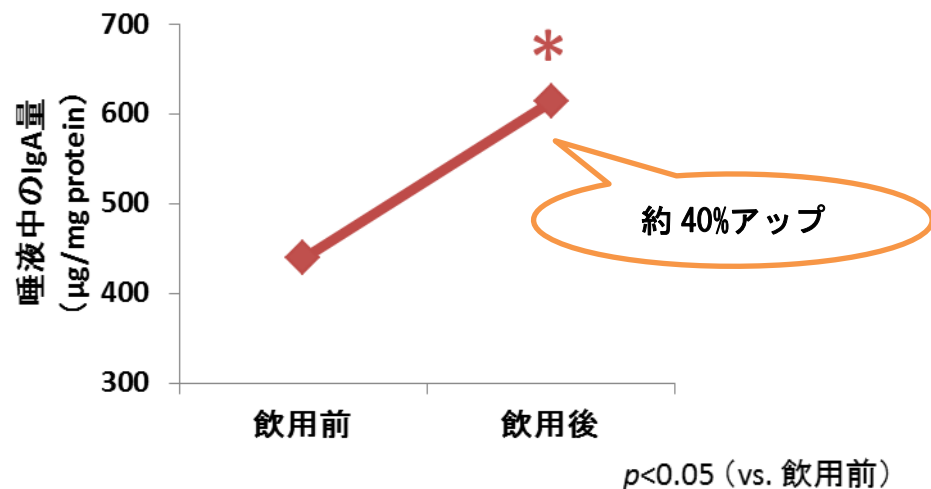
この結果から、酵素分解ローヤルゼリーが風邪やインフルエンザなどの感染症予防に役立つ可能性が示唆されました。

【試験概要】

■方法：唾液中に含まれる IgA の分泌が比較的低い方 10 名（ 47.6 ± 13.0 歳）を対象に、酵素分解ローヤルゼリー（生換算 7,200 mg/日）を 4 週間飲用して頂き、飲用前と飲用後に唾液中に含まれる IgA を測定しました。

■結果：唾液中の IgA は、飲用前と比較して、飲用 4 週間後に有意に増加しました(図)。

図. 酵素分解ローヤルゼリー飲用による唾液中 IgA 量の変化



■まとめ：

酵素分解ローヤルゼリーの継続飲用により、口腔内の感染防御の役割をもつ唾液中の IgA が増加し、ウイルスなどに対する粘膜のバリアが強化されると考えられます。

<本リリースに関するお問い合わせ>

株式会社山田養蜂場 文化広報室 関、寺田 〒708-0393 岡山県苫田郡鏡野町市場 194

TEL:0868-54-1906 (月～金 9:00～17:30、土日祝除く) / FAX:0868-54-3346

ホームページ: <http://www.3838.com>

みつばち健康科学研究所ホームページ: <http://www.bee-lab.jp/> 公式ツイッター: @yamadabeelab

酵素分解ローヤルゼリーの飲用による免疫力向上効果

【背景】

風邪は、主にウイルスによる疾患で、鼻水、咳、発熱および体のだるさなどの症状を示す身近な疾病の一つです。特に高齢者は、風邪をひきやすく、風邪にかかると治るまでに時間がかかり、症状が重症化しやすくなることが知られています。そのため、老人ホームなど的高齢者が集まる施設では、風邪やインフルエンザの予防や対策が重要な課題となっています。

一方で、体の外から侵入する病原菌やウイルス、異物などから体を守る仕組みである「免疫」は、その力を高めることで、病気にかかりにくく、健康で丈夫な体を保つことができると考えられています。ヒトの唾液には、喉の粘膜を覆うことで、口や鼻から侵入する病原体を防ぐ抗体^{※3}という免疫物質が分泌されています。その一つである IgA は、感染防御の初期段階で働く抗体で、外から侵入したウイルスなどの病原体に吸着し、無害化するなど感染防御に重要な役割をもち、免疫力の指標の一つとされています。

近年、山田養蜂場のローヤルゼリー製品を愛用頂いているお客様から、風邪をひきにくくなった、風邪をひいても長引かなくなったという声が多く寄せられています（自社調べ）。

酵素分解ローヤルゼリーの有効性に関する研究はこれまで数多く行われていますが、風邪などに対する「免疫力」に関して、ヒトにおける科学的な検証はあまり行われていませんでした。そこで、山田養蜂場ではヒトの「免疫力」に対する酵素分解ローヤルゼリーの有効性を検証するため、免疫力の指標 IgA に着目し調べました。

【試験方法】

唾液に含まれる IgA の分泌が比較的低い方 10 名（47.6 ± 13.0 歳）を対象に、酵素分解ローヤルゼリー（生換算 7,200 mg/日）を含む錠剤を 4 週間飲用して頂き、飲用前と飲用後に唾液に含まれる IgA を測定し、比較しました。

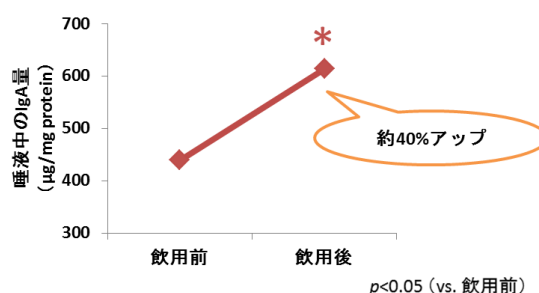
【結果】

唾液中の IgA 量は、飲用前と比較して、飲用 4 週間後に有意に増加しました（図）。

【まとめ】

今回の研究から、酵素分解ローヤルゼリーを継続飲用することで、口腔内の感染防御の役割をもつ唾液中の IgA が増加することが確認されました。唾液中の IgA が増加することで、ウイルスなどに対する粘膜のバリアが強化され、風邪やインフルエンザの感染予防に役立つ可能性が示唆されました。

図. 酵素分解ローヤルゼリー飲用による唾液中IgA量の変化



《用語説明》

- ※1 ローヤルゼリー…ミツバチの働き蜂が花粉や蜂蜜を食べ、女王蜂の特別食として分泌する乳白色でゼリー状の物質。特有成分デセン酸の他、必須アミノ酸を含むアミノ酸、ビタミン、ミネラル等をバランス良く含み、健康食品や化粧品原料として用いられている。
- ※2 IgA…腸管粘液、唾液、気管支粘液、母乳などの分泌液に最も多く含まれる免疫物質。病原微生物の排除や毒素の中和作用など生体防御に重要な役割を果たしており、免疫力の指標の一つとされている。なお、母乳では特に初乳（分娩後数日間分泌される母乳）に多く含まれており、まだ免疫機構が十分に発達されていない新生児にとっては、重要な生体防御成分となる。
- ※3 抗体…異物から体を守るために働くタンパク質の一種。異物が体内に侵入すると、それらを攻撃、排除するために体内で産生される。免疫という生体防御システムの一翼を担う重要な物質。